

THE JOURNAL OF THE ANTHROPOLOGICAL  
SOCIETY OF TOKYO

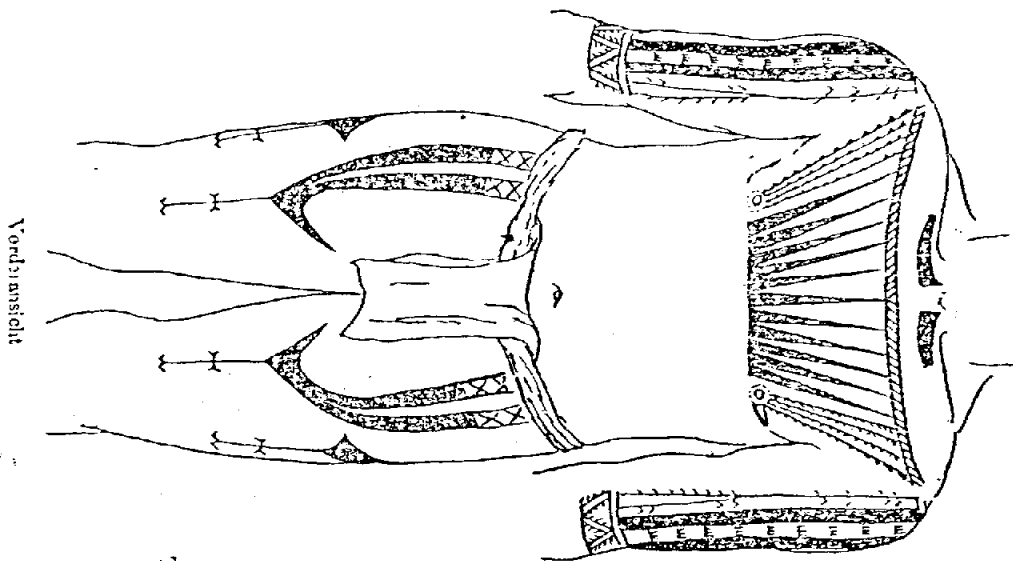
Vol. XLIII, Nos. 483-494. 1928

CONTENTS

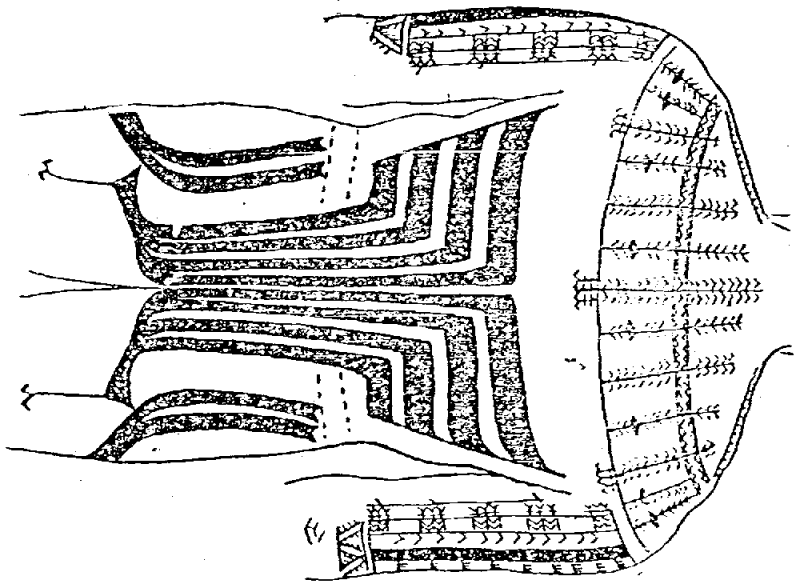
MATSUMURA, AKIRA. Branches of Anthropology . . . . .	1
ABÉ, TOHRU. General Remarks on the Human Heredity . . . . .	33, 77
MOROZUMI, SHUICHI. On the Protohistoric Site in a Cave at Shiga- mura, Shinano . . . . .	41
HASEBE, KOTONDO. On the Islanders of Togobei (Nevils Island) . . . . .	63
YOSHIDA, YUKINOBU. On the Development of Stature, Weight and Head-circumference of the Japanese. . . . .	71, 217
YAWATA, ICHIRO. Physical Anthropology of Russia ( <i>translated from</i> <i>RCUDENKO'S paper</i> ) . . . . .	87
KIYONO, KENJI, KANASEKI, TAKEO and HIRAI, TAKASHI. On the Deform- ed Crania from the Stone Age Site in Japan . . . . .	103
HASEBE, KOTONDO. The Tattooing of the Western Micronesians . . . . .	129
KOGANEI, YOSHIKIYO. The Japanese People from the Anthropological Point of View . . . . .	153
KIYONO, KENJI, KANASEKI, TAKEO and HIRAI, TAKASHI. On the Human Bones from an Urn of the Eneolithic Age found at Yamakamura, Chikugo. . . . .	161
NAGAYAMA, MOTCO. Notes on the Shell-mound of Okata, Tosa . . . . .	184
HIRAI, TAKASHI. On three Crania from the Shell-mound of Shijimi- zuka, Suruga . . . . .	197
NAORA, NOBUO. On the Neolithic Site of Motosumiyoshi-yama, Harima. ( <i>Preliminary Report</i> ). . . . .	223
NAKAYA, JUJIRO. On Descriptions relating to the Prehistory of Japan mentioned in recent Topographical Publications. . . . .	231
HASEBE, KOTONDO. Ruins and Relics in the Islands of Saipan and Tinian. . . . .	243
HIRAI, TAKASHI. Anthropological Studies on Human Skulls from the Shell-mounds of Tsubue in the Province of Bizen . . . . .	281







Vordrnsicht

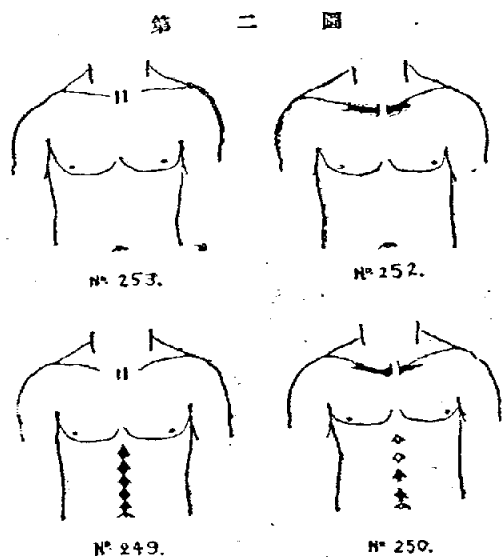


Rückdrnsicht

Togobai & (No. 245)  
 Skizze von Hasobe  
 第 一 圖



て、文身し、故に年長したるものは常に若きものより多くの跡をしてゐたといふことである (SEIDEL, S. 116.)。これもソンスルの如く完全に軀幹一面に黥して居るもの、外に、その或る部分に限つて黥せるものが多數彷徨してゐたことを語るもので、かゝるものが漸次黥を加へて、軀幹の全面に及ぼすと極つて居るか、居ぬかは疑問である。恐らく HOEHN がさう獨合黥したのかも知れぬ。



予はトコベイ人男子六及び女子二名に接したが、夫々特有な文身をもつてゐた。男子五名の文身は第一及び二圖に掲げた通り、他の一名は胸、上肢及び下腿に文身せる旨記録してあるが、詳細を知り得ない。恐らく第二圖の或るものに類したのであらう。第一圖に示した四十五歳位の男子の文身は最も完全に近きものであらうが、それでも腹部には黥してない。又鎖骨に沿つて施された横帯文が、第三、四及び八圖の如く、肩峰まで達せず、半ばにして終つてゐる。かゝる横帯文は第二圖の二例(No. 252 及び 250) にも見られ、更に後者の他の二例 (No. 253 及び 254) では胸骨把柄上、顔に達する二個の縦線にその痕跡をとめてゐる。比較的完全な第一圖に腹部の跡がないかと思へば、第二圖下段の二例には臍上に四個又は五個の菱形文一列を黥し、その技巧は頗る粗笨である。ソンスルその他北方の隣島人やモクモク、ファイヌ人など、ヨル式文身の行はる、諸島人にはかくの如く未完成ともいふべき文身は一例もなく、全くトコベイに限つて見らる

、状況である。思うにトコベイ人の文身は厳格な習慣に捉はれて居るように見えるも、それは表面だけで、内實は好んでこれを行うのではなく、侵入者の下風に立つて、原住民の心ならずも此れに倣つた有様が窺はるゝのである。

予の檢した二人のトコベイ女子は孰れも大腿より踝の高さに至るまで、兩下肢の全面に縦行鋸齒線を耕のよう

### ニ、ソンスル、プール及びメリール

ソンスル *Sonsol, Sounrorol, Sonrol, Sounsol, Tachiontil, Soutserol, Songosor, las islas de San Andres* はブラツの東南一八〇哩にあり、南北二小島より成る。北なるは *Tanna (Tanna)* といひ、南なるは即ちソンスルである。ブール *Bur, Pul, Wull, Bul, Anna, Pul-Anna, Curret I, Sونسル* の南南西約五〇哩メリール *Merir, Meriel, Pulo-Mariere, Magick, Marir, Warren Hastings I.* は同南南東約六五哩、プールの西南約三〇哩に在り、孰れも渺小にして、人口亦甚だ少數である。大正十四年十月一日現在島民人口はソンスル一七三、プール二二、メリール一二にして、バラウ島その他に移住出稼せるものを加へても、恐らく總計三百に出でないであらう。三島は目下トコベイと共にバラウ支廳管下に屬してはゐるが、その住民は、身性と文化と、孰れよりするも、ヤップ以東のカロリン人に近似し、特殊なる一地方集團と目すべきものである。

ソンスル人が胸、腹、背、上膊及び大腿の殆んど全面に亘りて特有なる文身を施すこと、ファイス人に似たるは、既に二百年前より知られてゐた(上文参照)。併しその詳細なる記述と描寫とは *Kuanx (S. 89-90)* 及び *Tafel XI* に就いて始めて見ることが出来る。氏によると、文身は *Touler* と云はれ、タマナの質でつくつた煤に水を



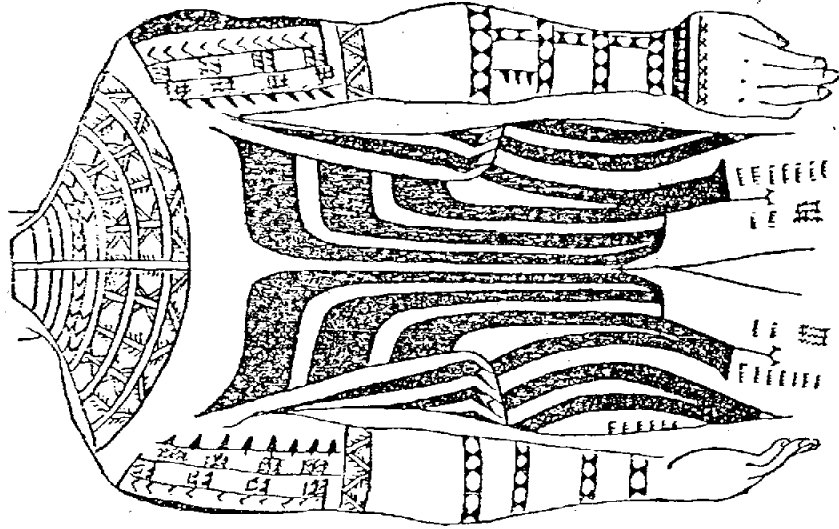
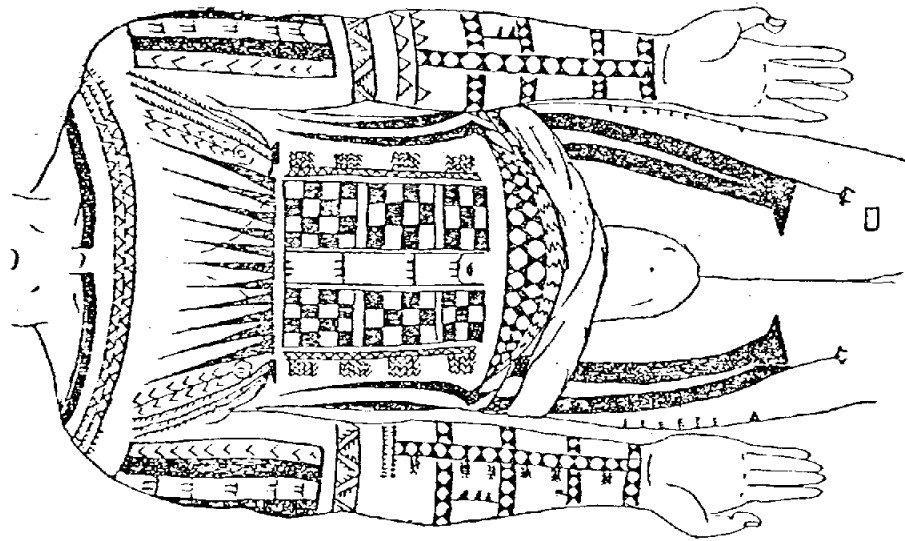








西ミロタカノアノ身文の存部(部)

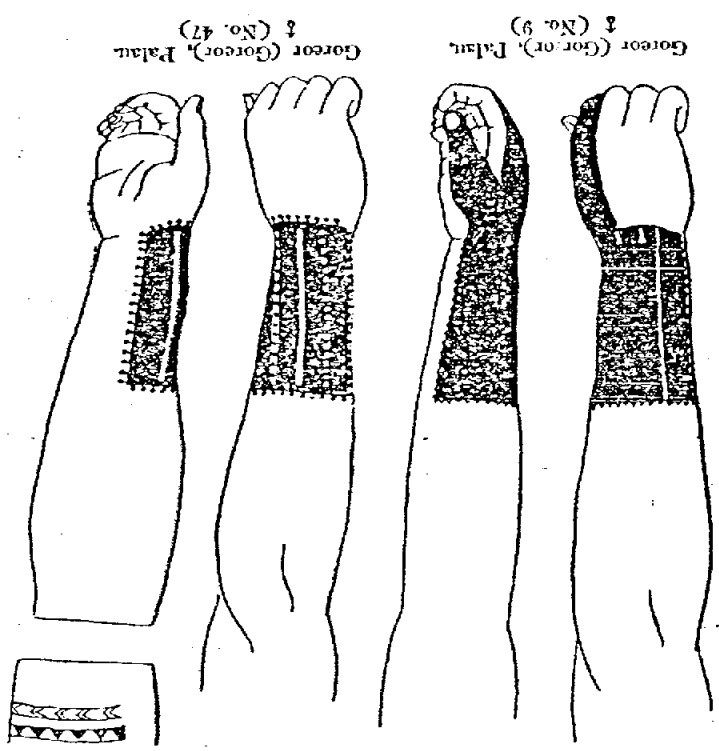


OMI

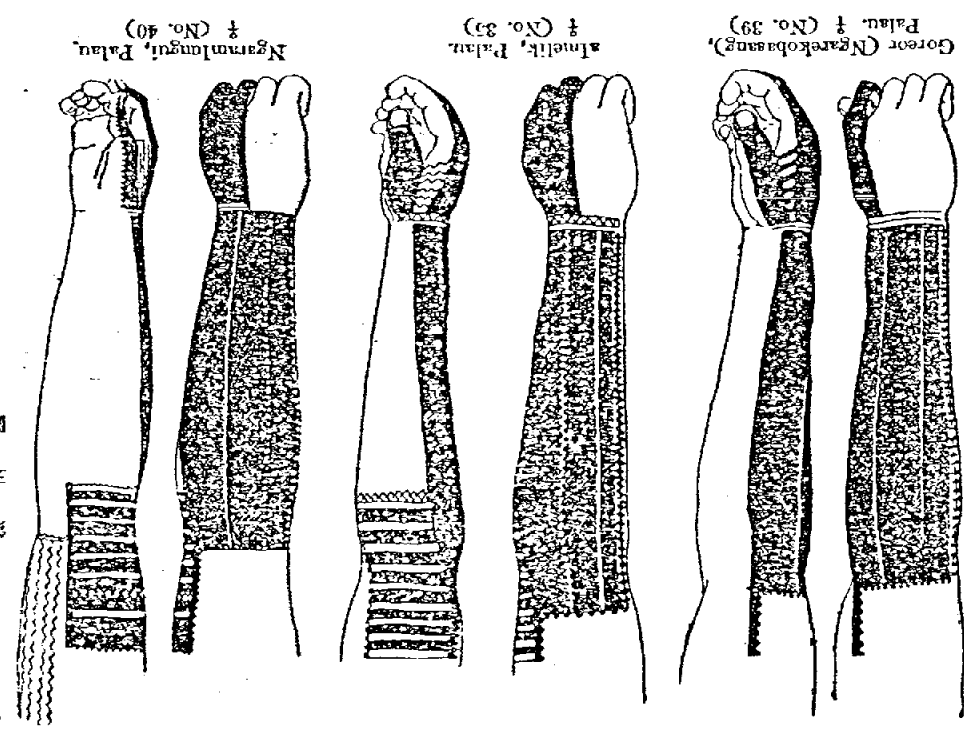
第四圖 Merir. 8 (No. 137)







第六圖



第五圖

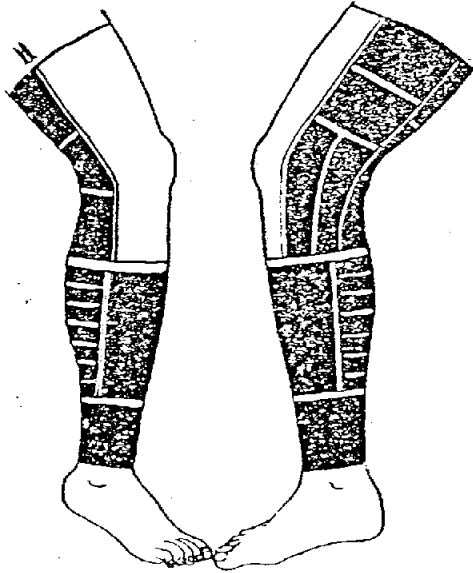
昭和3年3月



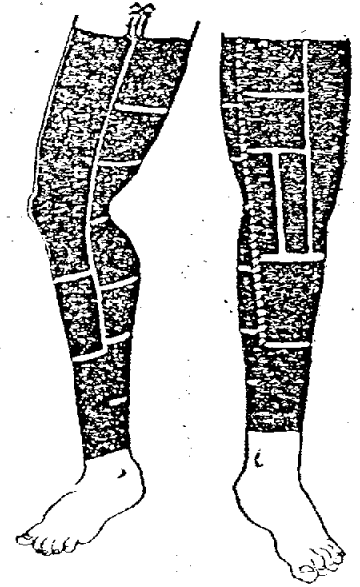


第七回

西部ミクロネシア人の文身(長谷部)



Rul (Valavat), Yap.  
† (nWagaag)



Tamil (Af), Yap.  
† (No. 316)

いか。Paminiといふ語もある。これは或る特殊の文様を指すのである。

ヤップ島民の文身中最も普通の種類は手首の所謂バラウである。予は男子四十六名中、二十五名の右或は左或は両側にこれを行へるを見た。但し東南部なるウルル(Rul)及びグロール(Groll)管區出身のもの各々四五名中に一名もなかつたのは注意すべきことである。

文様區々な爲めに描寫して置かなかつたが、MULUM (mulum)がその數例を圖示してゐる。モクモク、ファイヌ、オレアイ諸島民の手首に施すものと幾分近似してゐるようである。女子にもバラウを施せるものあり、その文様は男子と異つて略ぼ一定してゐるさうである。バラウのほか、上下肢に施さるゝ縦ろよゝな文身には魚形文(moa), marimamomo等の名稱がある、及び十字、鋸齒、三角等の幾何文が多い。

これらの不定なる文身に對して、動もすれば階級の標徴とも見らるゝ、特異な文身はライレゾオチャクであ





オランダ人のオランダ文身は PARKINSON の描き出したもので、オランダ人のオランダ文身は、オランダ人のオランダ文身と同様である。

オランダ人のオランダ文身は、オランダ人のオランダ文身と同様である。オランダ人のオランダ文身は、オランダ人のオランダ文身と同様である。

オランダ人のオランダ文身は、オランダ人のオランダ文身と同様である。オランダ人のオランダ文身は、オランダ人のオランダ文身と同様である。

オランダ人のオランダ文身は、オランダ人のオランダ文身と同様である。オランダ人のオランダ文身は、オランダ人のオランダ文身と同様である。

オランダ人のオランダ文身は、オランダ人のオランダ文身と同様である。オランダ人のオランダ文身は、オランダ人のオランダ文身と同様である。

オランダ人のオランダ文身は、オランダ人のオランダ文身と同様である。オランダ人のオランダ文身は、オランダ人のオランダ文身と同様である。

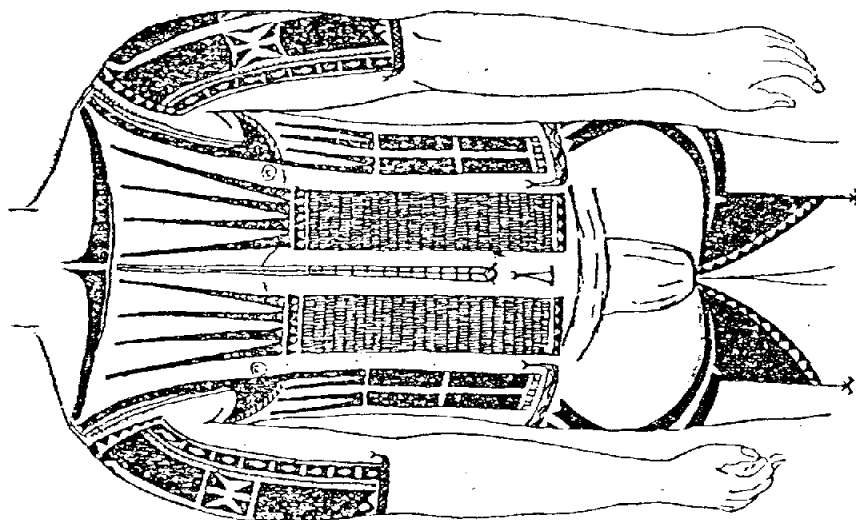
オランダ人のオランダ文身は、オランダ人のオランダ文身と同様である。オランダ人のオランダ文身は、オランダ人のオランダ文身と同様である。

オランダ人のオランダ文身は、オランダ人のオランダ文身と同様である。オランダ人のオランダ文身は、オランダ人のオランダ文身と同様である。

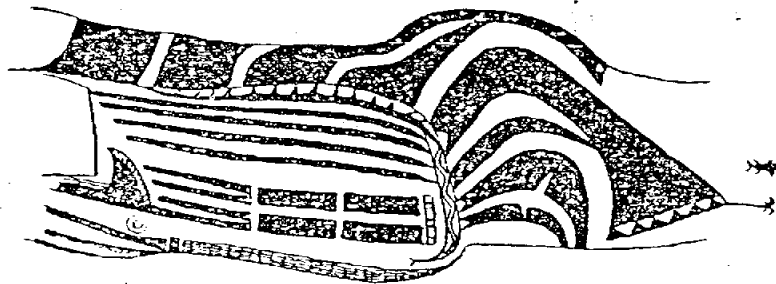
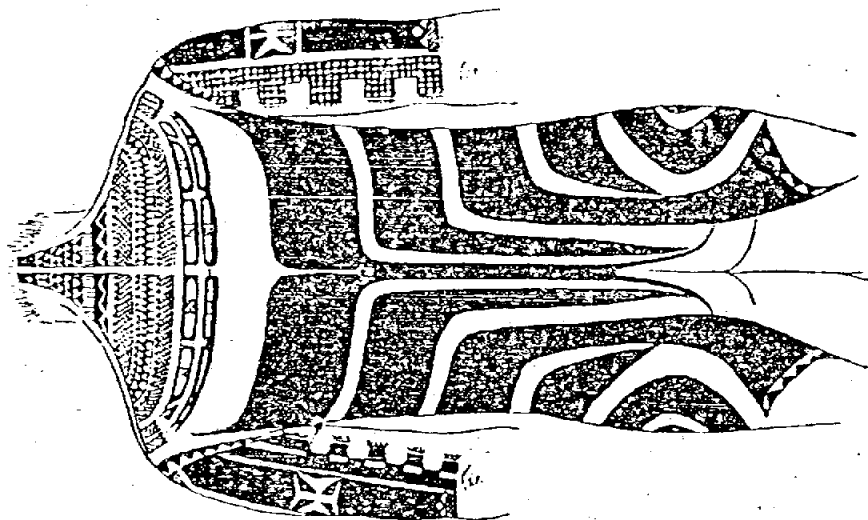
明治二年二月



西 三 瑪 斯 塔 人 的 女 身 裝 束 ( 部 )



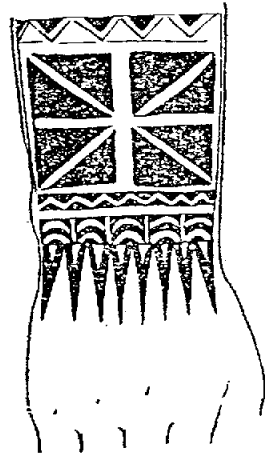
1 E O



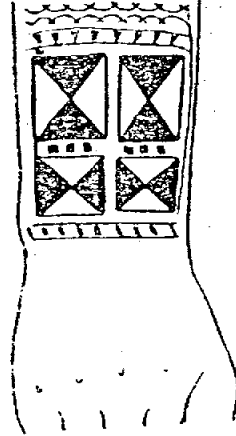
第八圖 Faia. 3 (No. 257)



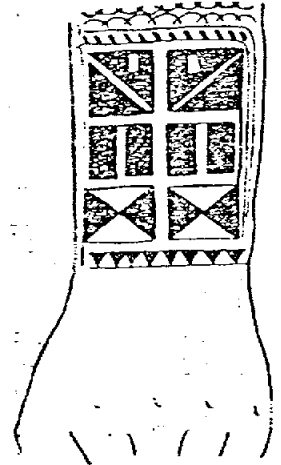
第九



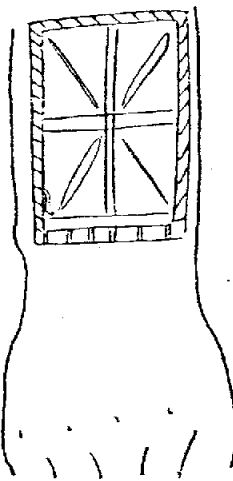
Falalap, Mogemog.  
♂ (No. 244)



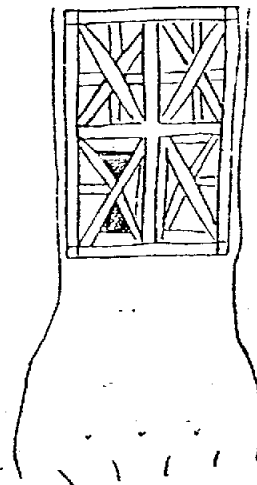
Soluap Volei.  
♂ (No. 243)



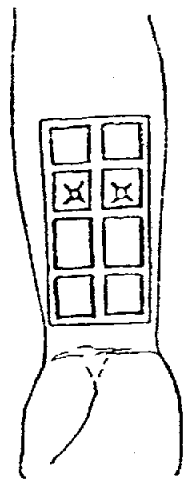
西部ミクロネシア人の文身(長谷部)



Farali, Volesi.  
♂ (No. 241)



Farali, Volesi.  
♂ (No. 242)







文 獻 目 録

1. 大正十一年南洋羣島探險報告，南洋探險報告，第1卷，第1號。
2. DORN. 1904. Ethnographisches von den Bewohnern der Olori-Inseln. Dackelman's Mitteilungen. Jrg. 1904. Heft 4. (Globus. Bd. 87. 1905. S. 244.)
3. GILBERT, E. 1873. Die Carolineninsel Yap oder Grup, nach den Mitteilungen von Alf. Teilon und Johann Kubary. Journal des Museum Godeffroy. Heft II.
4. 米谷龍輔 大正十一年南洋羣島探險報告，南洋探險報告，第1卷，第1號。
5. 西 澤 隆 三 郎 大正十一年南洋羣島探險報告，南洋探險報告，第1卷，第1號。
6. KEANE, GEORGE. 1738. An account of the Telow Islands. Second edition. London.
7. KÄMÄN, AUGUSTIN. 1917. Palau. I. Ergebnisse der Südoos-Expedition 1908—1910. II. Ethnographie: B. Mikronesien. Bd. 3. Hamburg.
8. KUBARY, JOHANN S. 1873. Die Tanau-Insel in der Südoos. Journal des Museum Godeffroy. Heft IV.
9. " 1875. Weitere Nachrichten von der Insel Ponapé (Carolinen-Archipel). Ebenda. Heft VIII.
10. " 1895. Notizen über einen Ausflug nach den westlichen Karolinen. Ethnographische Beiträge zur Kenntnis des Karolinen Archipels. Leiden.
11. 西澤隆輔 大正十一年南洋羣島探險報告，南洋探險報告，第1卷，第1號。
12. MÜLLER, WILHELM. 1917. Yap. I. Ergebnisse der Südoos-Expedition 1908—1910. II. Ethnographie: B. Mikronesien. Bd. 2.
13. PANKINSON. 1897. Zur Ethnographie der Ontong Java- und Tasmann-Inseln. Internationales Archiv für Ethnographie. Bd. X.
14. " 1904. Beiträge zur Kenntnis der Mogenokinsulaner. Globus. Bd. 83.

- 一、トコベイ
- 二、ソンソル、ブール、メリール
- 三、バラウ
- 四、ヤツブ、スル
- 五、モクモク、ファイス
- 六、オレアイ以東サトワル

特有なる文身諸形式を大別すれば次の如くである。

- 一、ソンソル、ブール、メリール女子の胸より上背に亘る環状文
- 二、バラウ下肢の十字文縦列、ソンソル、ブール、メリール等の楕歯文、十字文等を緋りの如く下肢に施せるもの、トコベイ女子の下肢に縦行鋸齒文を緋りの如くにせるもの、ヤツブ人等の四肢に十字文  
其他を不規則に黥せるもの等

三、ヨル式文身

- 四、モクモクの女子(バーキンソン)、ヤツブの女子(ミユルレル)、ベリリウのキング(アンテローブ)、ソンソル女子(クパリー)等に見たりといふ下腹、腰、大腿等を蔽ふ文身

- 五、バラウ島民の上肢文身、ヤツブのテイレグォチャク及びウチフ等の縦横帯状文にて四肢を蔽ふもの、

- 六、ヤツブ、モクモク、ファイス、オレアイ及び以東の手首の文身

これらの諸形式の起原、發達に就いては、後考に俟つこととし、こゝにはその概況を紹介するにとめて置く。

15. KINZEL, M. G. F., DONNER DIE. 1836. *Océanie*, Tome 2, Pl. 100. Paris.
  16. SIBBLE, H. 1903. Die Bewohner der Tobi-Insel. *Globus*, Bd. 87.
  17. " 1903. Ueber Religion und Sprache der Tobiansaner. *Globus*, Bd. 89.
  18. SEYDERT, ANNO. 1903. Über die Tiliowierung der Westmikronesier. *Globus*, Bd. 87.
- 

JOEST W. 1887. *Tiliowien, Narbenzeichen und Körpermalen*. Berlin.

SCHNEITZ, J. D. F. 1881. *Kleidung und Schmuck der Eingeborenen des Stillen Oceans*. Altona.

卷二終末頁